

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	栄養指導、食生活改善指導事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	040200 - 013	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	健康増進法、地域保健法、食育基本法			
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン、北上市食育推進計画			
■事業の目的と概要	生活習慣病の大きな要因である食生活の改善を図り、健康の保持増進を図る。乳幼児健診時の個別指導、特定保健指導、随時指導、食事指導講習会、親子の料理教室			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	栄養指導、食生活改善指導事業	市民	食事指導講習会67回、参加延人数400人、協力推進員150人	食事指導講習会56回、参加延人数903人、協力推進員173人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	569	600	570	452	
人件費	1,984	3,304	2,897	4,471	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,553	3,904	3,467	4,923	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	食事指導講習会の開催回数	75回	78回	52回	56回	
02	親子の料理教室の開催回数	19回	15回	16回	未実施	
04	講習会1回あたりコスト	27,160円	41,978円	50,985円	87,910円	フルコスト÷(指標実績①+②)開催回数

05	親子1回あたりコスト	27,160円	41,978円	50,985円	0円	フルコスト÷指標実績②開催回数
----	------------	---------	---------	---------	----	-----------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった事業もあったが、食事指導講習会など各地区で工夫しながら実施した事業もあった。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症拡大に注意しながら活動する必要がある。</p>
---	---	--

<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>
<p>■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)</p>	
<p>■今後の方向性</p> <p><input type="radio"/> I. 拡充</p> <p><input checked="" type="radio"/> II. 継続</p> <p><input type="radio"/> III. 縮小</p> <p><input type="radio"/> IV. 廃止・休止</p> <p><input type="radio"/> V. 完了</p>	

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	食生活改善推進員設置事業			
■事業開始年度	昭和54年度			
■評価事業コード	040200 - 015	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	根拠法令「国民の健康づくり地方推進事業の推進について健医地発53 H10.6.22			
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	食生活改善推進員を確保育成することにより、栄養及び食生活改善運動を円滑にし、市民の健康増進を図る。食生活改善推進員養成「栄養教室」の開催、委嘱、活動報告、育成研修の開催、食生活改善推進員協議会活動への支援			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	食生活改善推進員設置事業	食生活改善推進員、市民	委嘱者数326人、育成研修会開催回数9日、参加延べ人数200人	委嘱者数326人、育成研修会開催回数9日、参加延べ人数214人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	1,621	1,617	1,654	1,539	
人件費	2,518	3,842	3,430	4,098	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,139	5,459	5,084	5,637	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	食生活改善推進員数	351名	351名	341名	326名	
02	食生活改善推進員育成研修会参加率	68.1%	67.5%	66.3%	65.6%	
03	食生活改善推進員になって役に立ったと思う者の割合	99%	97.9%	96.4%	93.8%	食生活改善推進員になって役に立ったと思う者÷アンケート提出者数×100

04	推進員一人あたりコスト	11,792円	15,552円	14,909円	17,291円	フルコスト÷食生活改善推進員数
05	参加者一人あたりコスト	8,659円	11,516円	11,247円	26,341円	フルコスト÷育成研修参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
<input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまな地区活動が中止になったが、それぞれ工夫して取り組むことができた。	今後も新型コロナウイルス感染症拡大に注意しながら、育成研修や栄養教室等を実施していく。

1. 直接的な受益者の範囲	2. 国・県・民間との競合関係の有無	
<input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	<input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度	4. 市民生活・企業活動への貢献度	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合
<input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	<input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	<input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化	7. 施策の改善需要度(市民意識調査)	8. 施策の優先度(市民意識調査)
<input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	<input type="radio"/> 順位が高い <input checked="" type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	<input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性	10. 実施主体の代替性	11. 経済性・効率性の向上
<input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	<input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	<input type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input checked="" type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了
---	--

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	食生活改善推進員協議会運営費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	040200 - 016	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	食生活改善推進員の相互連携や活動が充実する。会議開催(総会1回 委員会5回)、食生活改善推進員だより編集委員会、食生活改善推進員だより発行			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	食生活改善推進員協議会運営費補助金	食生活改善推進員協議会	会議開催回数総会1回、委員会5回、食改推進員だより編集委員会1回	会議開催回数 書面総会1回、委員会5回、食改推進員だより編集委員会1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	458	458	411	410	
人件費	1,297	845	381	149	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,755	1,303	792	559	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	総会参加者率	91.7%	95.2%	98.8%	96.6%	
02	委員会開催回数	5回	5回	5回	5回	
03	食生活改善推進員になって役に立ったと思う者の割合	99.0%	97.9%	96.4%	93.8%	食生活改善推進員になって役に立ったと思う者÷アンケートの提出者数×100

04	参加者1人あたりコスト	5,450円	3,901円	2,343円	1,775円	フルコスト÷総会参加者数
05	委員会1回あたりコスト	351,000円	260,600円	158,400円	111,800円	フルコスト÷委員会開催回数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
	<input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	計画通りに委員会等を実施し、事業の進捗状況や今後の予定等を確認できている。

1. 直接的な受益者の範囲	2. 国・県・民間との競合関係の有無	3. 事業廃止の影響・貢献度	4. 市民生活・企業活動への貢献度	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合
<input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	<input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	<input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	<input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	<input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化	7. 施策の改善需要度(市民意識調査)	8. 施策の優先度(市民意識調査)		
<input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	<input type="radio"/> 順位が高い <input checked="" type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	<input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い		
9. 他市町村に比較しての優位性	10. 実施主体の代替性	11. 経済性・効率性の向上		
<input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	<input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	<input type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input checked="" type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい		

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了
---	--

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	食生活改善推進員協議会活動費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	040200 - 017	■会計区分	国民健康保険特別会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	食生活改善推進員の資質の向上、及び活動の充実。専門部活動(企画部、給食部、生活部)、ヘルスサポーター21事業等で地域ぐるみの食生活改善活動を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	食生活改善推進員協議会活動費補助金	食生活改善推進員協議会	専門部活動企画部4回、参加人数120人、給食部3回、参加人数30人、生活部5回、参加人数50人	専門部活動 企画部2回、参加人数10人、給食部1回、参加人数11人、生活部5回、参加人数59人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	131	131	131	83	
人件費	1,297	845	381	149	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,428	976	512	232	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	専門部活動参加者数	707人	726人	742人	497人	のべ数 総会資料綴り、総会、委員会、ほかし作り、食品衛生講習会、芸能まつり、中部地域リーダー研修会、支部総会、ふれあいスポーツ大会、避難者支援事業、食育推進事業、栄養教室等専門部活動に係わる事業

03	食生活改善推進員になって役に立ったと思う者の割合	99.0%	97.9%	96.4%	93.8%	食生活改善推進員になって役に立ったと思う者÷アンケートの提出者数×100
04	参加者1人あたりコスト	2,020円	1,344円	690円	467円	フルコスト÷専門部活動参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

達成状況の分析

問題点・課題等

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

コロナ禍の影響で例年に比べて回数や参加人数は減少したが、それぞれ感染症対策をしながら取り組むことができた。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	健康づくり推進協議会の開催			
■事業開始年度				
■評価事業コード	040200 - 018	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	市民の健康づくりの推進を図る。健康づくり推進協議会の開催			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	健康づくり推進協議会の開催	市民	年2回程度協議会を開催し、健康づくりプランの進捗状況及び検証を行う。	会議開催3回(うち2回文書開催)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	176	5		109	
人件費	1,145	384	76	75	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,321	389	76	184	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	出席人数	24人	0人 文書報告のみ	0人 文書報告のみ	16人	
02	回数	2回	0回 文書報告のみ	0回 文書報告のみ	開催3回(うち2回文書開催)	健康づくりプランの策定
03	出席率	66.7%	0% 文書報告のみ	0% 文書報告のみ	88.9%	出席者÷委員数×100

04	出席人数あたりコスト	55千円	0円 文書報告のみ	0円 文書報告のみ	55千円	フルコスト÷出席人数
05	開催回数あたりコスト	660.5千円	389千円(文書報告1回あたり)	-	61.33	フルコスト÷回数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

会議を開催することが出来た。

問題点・課題等

感染症対策のため、一堂に会しての会議の開催が難しい状況である。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	食育計画推進事業			
■事業開始年度	平成23年度			
■評価事業コード	040200 - 102	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	食育基本法、食育推進基本計画			
■関連計画の名称	北上市食育推進計画			
■事業の目的と概要	「食」を通して家庭で施されるべき教育、食事を通じて健康、家庭教育、しつけ教育等が見直される。家庭、幼稚園、保育所、学校、地域、生産者・事業者、行政が一体となって取り組む。北上市食育推進協議会にて、食育計画の助言や施策の進捗状況を審議する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	食育計画推進事業	一般	年度末に食育の進捗状況の報告及び次年度の事業計画の協議。関係課と連携した食育推進を行い、幅広い世代に食育推進活動を実施。	書類送付による食育推進協議会を実施。食育の進捗状況を報告のほか、来年度から健康づくりプランへ統合になることを報告した。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	62	122	66	67	
人件費	1,526	1,921	2,515	2,086	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,588	2,043	2,581	2,153	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	出席率	83.3%	91.7%	91.7%	0% (書面報告のみ)	出席者÷委員数(12人)
02	出席者数	10人	のべ22人	11人	0人 (書面開催)	委員数12人
03	回数	1回	2回	1回	1回	年1回開催

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

「薄味に心がけている人の割合」「毎日朝食を食べる子の割合【3歳6か月児】」で目標値を達成。

問題点・課題等

小中学生の「毎日朝食を食べる子の割合」や小中学生の「肥満の割合」などは改善しておらず、食習慣の改善などを引き続き進めていくことが必要。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

国・県・他市町村の取組を参考にしながら、新しい生活様式に合わせた事業を検討する。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係	
■評価事業名称	保健推進員設置事業(一般)				
■事業開始年度	平成3年度				
■評価事業コード	040200 - 201	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり			
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実			
	■施策	03 市民の健康づくりの推進			
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの				
■法令等の名称					
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン				
■事業の目的と概要	保健活動の円滑な推進を図る。委嘱・活動報告に関する事務、研修会開催、事務局として保健推進員協議会の運営、活動に係わる等				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	保健推進員設置事業(一般)	市民	・後期全体研修会の実施・活動報告書の提出・協議会委員へのミニ学習会の実施・県の研修会	コロナ感染症予防のため、全体研修会・健の研修会共に中止地域の感染対策状況に合わせて、協議会活動及び地域での活動を実施した報告書数(952件)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	2,287	2,315	2,293	2,271	
人件費	687	1,230	1,982	2,384	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,974	3,545	4,275	4,655	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	保健推進員研修会参加者数	176人	162人	研修会中止	研修会中止	
02	保健推進員活動報告書提出数	230人	236人	238人	183人	上半期で報告書が未提出の人には地区委員から提出するように呼びかけた。

03	保健推進員になって良かったと思う者の割合	77.5%	80.2%	75.0%	アンケート未実施	保健推進員になって良かったと思う者の割合÷アンケート提出数×100 H24~良かったと思う者×提出者数×100
04	提出者一人当たりコスト	12,930円	15,021円	17,962円	25,437円	フルコスト÷提出者数
05	参加者一人当たりコスト	16,897円	21,882円	研修会中止	研修会中止	フルコスト÷参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまな地区活動が中止になったが、それぞれ工夫をして徐々に活動再開できている。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症拡大に注意しながら、健診の従事、地区健康まつり等の活動を行い、徐々に活動を増やし充実させる必要がある。</p>
---	--	--

<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されることが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>	
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input checked="" type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

2年任期であるが保健推進員を引き受ける担い手が減っているため委嘱内容を見直す。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	健康づくりプラン等策定事業			
■事業開始年度	令和2年度			
■評価事業コード	040200 - 130	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	(未入力)			
■法令等の名称	健康増進法			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	健康増進法第8条による市町村健康増進計画の策定業務健康づくりプラン策定			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	健康づくりプラン策定事業	市民	健康増進法第8条による、市町村健康増進計画の策定業務健康づくりプラン策定	第4次健康づくりプランを策定した

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				4,133	
人件費				3,502	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				7,635	

4. 評価指標等の状況

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況 <input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 第4次健康づくりプランを策定した。	問題点・課題等 なし
1. 直接的な受益者の範囲 <input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が生ずる <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input checked="" type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充 <input type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input checked="" type="radio"/> V. 完了
--	---

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	保健推進員設置事業(国保)			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	040200 - 202	■会計区分	国民健康保険特別会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の努力義務(自治事務)			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	保健活動の円滑な推進を図る。委嘱・活動報告に関する事務、研修会開催、事務局として保健推進員協議会の運営、活動に係わる等			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	保健推進員設置事業(国保)	市民	・後期全体研修会の実施・活動報告書の提出・協議会委員へのミニ学習会の実施・県の研修会	コロナ感染症予防のため、全体研修会・健の研修会共に中止地域の感染対策状況に合わせて、協議会活動及び地域での活動を実施した報告書数(952件)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	94	145	41	108	
人件費	610	922	1,982	373	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	704	1,067	2,023	481	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	保健推進員研修会参加者数	176人	162人	研修会中止	研修会中止	
02	保健推進員活動報告書提出者件数	230人	236人	238人	183人	
03	保健推進員になって役に立った(良かった)と思う者の割合	77.5%	80.2%	75.0%	アンケート未実施	役に立った(良かった)と思う保健推進員数÷アンケート提出数×100

04	提出者一人当たりコスト	3,060円	4,521円	8,500円	2,628円	フルコスト÷提出者
05	参加者一人当たりコスト	4,000円	6,586円	研修会中止	研修会中止	フルコスト÷研修会参加者

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

問題点・課題等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまな地区活動が中止になったが、それぞれ工夫をして徐々に活動再開できている。

今後も新型コロナウイルス感染症拡大に注意しながら、健診の従事、地区健康まつり等の活動を行い、徐々に活動を増やし充実させる必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

2年任期であるが保健推進員を引き受ける担い手が減っているため委嘱内容を見直す。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課	■担当係	母子保健係
■評価事業名称	保健推進員協議会運営費補助金		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	040200 - 203	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実	
	■施策	03 市民の健康づくりの推進	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン		
■事業の目的と概要	保健活動の円滑な推進を図る。会議開催(総会1回 委員会6回)、保健推進員だより編集委員会4回、保健推進員だより発行回数2回		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	保健推進員協議会運営費補助金	市民、保健推進員協議会	会議回数・総会1回・委員会7回・推進員だより編集委員会3回・推進員だより発行2回 30周年記念式典実行委員会4回	会議回数 書面総会・委員会6回・推進員だより編集委員会3回・推進員だより発行2回 30周年記念式典実行委員会4回(臨時開催1回)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	198	198	205	208	
人件費	534	999	2,668	4,620	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	732	1,197	2,873	4,828	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	委員会開催回数	6回	6回	5回	6回	保健推進員協議会の運営を円滑に進めるために開催。
02	保健推進員協議会総会参加者数	206人	203人	206人	210人	R1、2書面開催
03	保健推進員になり、役に立ったと思う人の割合	77.5%	80.2%	75%	アンケート未実施	役に立った(よかった)と思う保健推進員数÷アンケート提出者数×100

04	委員会開催1回当たりコスト	122,000円	199,500円	574,600円	804,667円	フルコスト/委員会開催数
05	参加者1人当たりコスト	3,553円	5,896円	13,947円	22,990円	フルコスト/総会参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
<input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	計画通りに委員会等を実施し、事業の進捗状況や今後の予定等を確認できている。	新任期の委員に対して協議会活動の目的や役割の確認をより丁寧に行っていく必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲	2. 国・県・民間との競合関係の有無	3. 事業廃止の影響・貢献度	4. 市民生活・企業活動への貢献度	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合
<input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	<input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	<input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	<input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	<input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化	7. 施策の改善需要度(市民意識調査)	8. 施策の優先度(市民意識調査)	9. 他市町村に比較しての優位性	10. 実施主体の代替性
<input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	<input type="radio"/> 順位が高い <input checked="" type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	<input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	<input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	<input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能
11. 経済性・効率性の向上		■今後の方向性		
<input type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input checked="" type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい		<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小 <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了		

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

2年の任期であるが、保健推進員を引き受ける担い手が減っているため、新任期の研修や活動内容を見直す。

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	保健推進員協議会活動費補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	040200 - 204	■会計区分	国民健康保険特別会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	地域ぐるみ市民ぐるみの健康づくり運動の推進。ヘルスアップ教室開催、地区での健康づくり活動の推進、市の保健活動への協力、研修会、講演会等開催、国保等の大会・研修会参加			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	保健推進員協議会活動費補助金	保健推進員協議会	ヘルスアップ教室16地区ウォーキング教室16地区 研修会・講演会の開催国保等の大会・研修会参加	ヘルスアップ教室11回157人ウォーキング教室14回278人・全体研修会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。委員研修開催1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	352	352	352	352	
人件費	534	1,076	2,592	4,545	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	886	1,428	2,944	4,897	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	ヘルスアップ教室の参加者数	378人	423人	505人	157人	地区交流センターとの協働など地域住民への周知が浸透してきた
03	保健推進員になり、役に立った(よかった)と思う人の割合	77.5%	80.2%	75%	実施なし	役に立った(よかった)と思う保健推進員数÷アンケート提出数×100
04	参加者数一人当たりコスト	2,343円	3,375円	5,829円	31,191円	フルコスト/ヘルスアップ教室参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

全体研修会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。ヘルスアップ教室とウォーキング教室の参加者は、コロナ禍の影響で例年よりも減少した。

問題点・課題等

地域差があるため、自主活動(ヘルスアップ教室等)開催する際、企画がスムーズにいかないことがある。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

2年任期であるが保健推進員を引き受ける担い手が減っているの
で、新任期研修や活動内容を見直す。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	成人保健係
■評価事業名称	地区健康づくり推進協議会事業			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	040200 - 205	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	地域住民のニーズに添った健康づくり活動の推進。地区の健康づくり活動への情報提供及び協力			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	地区健康づくり推進協議会事業	地区民	健康づくり交付金は地域づくり総合交付金に集約されている。地区健康づくり活動については地区健康づくり組織の実情に沿って活動していく。	健康づくり活動交付金は地域づくり総合交付金に集約されている。令和元年度健康づくり推進事業の実施内容は、16地区区分全て確認済。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費			2	1	
人件費	2,060	154	762	671	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,060	154	764	672	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	地域活動実績					H18からは地区での健康づくり活動の実績
06	一回当たり(H18~)コスト					H26からは総合交付金となったため地域づくり課に移管

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

16地区での活用方法の差異はあるが、工夫し活用されている。コロナ感染症の影響で、計画どおりに事業実施できない状況であった。地区活動には地区担当保健師も関わり協働している。

問題点・課題等

コロナ感染症の影響のため事業停滞したもので、次年度事業企画に工夫が要する。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

引き続き16地区の健康づくり事業に関する情報を収集する。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	思春期保健事業			
■事業開始年度	平成9年度			
■評価事業コード	040200 - 206	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上健康づくりプラン、岩手県エイズ対策推進プラン、岩手県自殺対策アクションプラン			
■事業の目的と概要	次代を担う子どもが自分や相手を大切に主体的に生きていくと感じ、生きる力を育む環境が整う。自殺対策事業の若年者の自殺予防対策と一緒に思春期保健講座(児童生徒向け講演会等)を開催。また関係者の思春期連絡会の開催。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	思春期保健事業	思春期の子ども、保護者及び関係者・一般	成人保健係と合同で講演会を開催	成人保健係の自殺対策事業講演会はコロナのため中止となったため、単独で実施。令和2年9月2日講演会実施16人参加。2部屋使用し1部屋をリモート開催。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	84		9	51	
人件費	687		3,735	298	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	771		3,744	349	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	思春期保健連絡会・講座等の実施回数	1回	0回	1回	1回	
03	十代の人工妊娠中絶実施率(人口千対 中部保健所管内)	H28/4.5%	H29/2.7%	H30/3.0%	R1/5.0%	人口千対(環境保健研究センター算出による)
04	開催回数コスト	771千円		3,744千円	349千円	フルコスト/連絡会・講座等開催数

05	参加人数コスト		144千円	21千円	フルコスト/参加者数
----	---------	--	-------	------	------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>研修会や思春期連絡会も実施してきたが、時代の変化に伴う諸健康問題に対し改めて市の活動の方向性を検討した。自殺対策事業と共同で講演会を行う予定だったが、新型コロナウイルスのため中止となり、単独で実施した。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>思春期・青年期の健康問題に性や不登校・引きこもり、自殺等があり時代の変化とともに多様化している。さらに思春期から妊娠期にかけて切れ目ない支援が必要と言われている。事業内容の検討が必要。</p>
---	---	--

<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>	
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input checked="" type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止
<input checked="" type="radio"/> II. 継続	<input type="radio"/> V. 完了
<input type="radio"/> III. 縮小	

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	成人保健係
■評価事業名称	がん対策基金積立金			
■事業開始年度	昭和56年度			
■評価事業コード	040200 - 257	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	がん対策基本法			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	がん対策基金を積み立て、有効に活用する。がんの予防及び緩和対策の資金に充てるため、基金に積み立てる			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	がん対策基金積立金	一般市民	寄付があった場合、基金に積み立てる。	受け付けた寄付金はなし

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	212	18		167	
人件費	153		76		
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	365	18	76	167	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	基金の積み立て額コスト	1.7	1.0	2.2	167,000	フルコスト/積立金額
02	基金の積み立て額	212千円	18千円	168千円	0円	新たな基金の積み立て額
03	年間基金の積み立て額	212千円	18千円	168千円	0円	寄付金を積み立てた。

04	基金の活用者数	53人+2団体検診無料524人	39人+2団体がん検診無料521人	41人+2団体がん検診無料539人	乳房補正具助成事業活用者、頭髪補正具助成事業活用者、ボランティア派遣者、介護用品補助者、市民活動助成事業活用団体数。がん検診受診初年無料化 H26より医師意見書にも9割補助開始
05	活用者1人あたりコスト	31円	135.7円	286.9円	フルコスト/活用者1人あたり

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>近年、寄付額が少額にとどまっている。令和2年度は寄付はなかった。寄付があった際の事務手続きは順調に進めている。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>がん対策基金は継続的に活用しているが、近年寄付が少額にとどまっているため、将来的に基金が枯渇されると予測される。</p>
---	---	--

<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

--

■今後の方向性

<input type="radio"/> I. 拡充	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止
<input checked="" type="radio"/> II. 継続	<input type="radio"/> V. 完了
<input type="radio"/> III. 縮小	

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	成人保健係	
■評価事業名称	がん対策基金活用事業				
■事業開始年度	平成17年度				
■評価事業コード	040200 - 258	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり			
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実			
	■施策	03 市民の健康づくりの推進			
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの				
■法令等の名称	がん対策基本法				
■関連計画の名称	第2次北上市健康づくりプラン				
■事業の目的と概要	がんの予防並びにがん患者の在宅生活及び在宅療養への支援のため。(1)介護用品並びに医療用品の購入又は借り入れに対する助成、(2)患者及び家族の精神面及び生活面を支援するためのボランティア派遣、(3)患者の社会参加を促すための補正具の購入に対する助成、(4)がんの予防及び患者等の日常生活を支援する市民活動に対する補助、(5)がんに関する知識の普及のための市民講演会・研修会等の開催、(6)がん検診初年度受診対象者の検診料助成、(7)その他がんの予防及び患者の支援に必要と認められるもの。				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	がん対策基金活用事業	北上市に住所を有するがん患者等	・緩和ケア用品購入借入費助成・ボランティア派遣・補正具購入費助成・市民活動への助成・がん検診 受診料初年度免除・相談窓口設置・ハンドブック印刷500冊	緩和ケア用品購入借入費助成2人(借入1か月×2人)、ボランティア登録30人・派遣1人、補正具購入費用助成41人(乳房8人、頭髪33人うち両方申請2人)、相談件数15件、市民活動に対する補助2団体、ハンドブック500部印刷、がん検診初年度受診料免除537人、頭髪補正具具補助金開始

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	2,439	1,708	1,579	1,421	
人件費	3,892	4,841	4,650	2,906	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,331	6,549	6,229	4,327	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	各種がん検診の初年度受診者数の合計	602人	524人	521人	537人	各種がん検診初年度受診者無料化は平成22年度から実施

02	補正具購入費用の助成を受けた人数	乳房5人 頭髪61人	乳房6人 頭髪42人	乳房8人 頭髪27人	乳房8人、頭髪33人	H22から乳房・頭髪補正具補助の目標人数を合わせた目標値(21までは乳房補正具補助)
03	補正具購入の助成額	1,836千円	1,284千円	935千円	1,079千円	補正具(乳房・頭髪補正具)購入費用の助成額
04	介護用品購入又は借入に対する助成を受けた人数	2人	4人	4人	2人	(21までは頭髪補正具補助)
05	介護用品購入等への助成額	29千	89千	106千円	29千円	介護用品及び医療用品の購入または借り入れ費用の助成額
06	各種がん検診初年度検診料への補助費	2,440千円	2,600千円	2,382千円	2,198千円	平成22年度から実施。平成27年度から、乳がん検診は国のクーポン事業を中止しがん対策基金活用事業のみの活用

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p>○ A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p>○ C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>事業計画に沿い、概ね滞りなく実施できた。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>対象者が利用しやすいように実施要綱を一部改正したが、助成人数等でその効果を確認していく必要がある。</p>
---	--	---

<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p>○ 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p>○ 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p>○ 類似の事業はない</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p>○ 類似の事業があり競合する</p>	
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p>○ 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p>○ 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p>○ 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p>○ 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p>○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p>○ 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p>○ ニーズは変わらない</p> <p>○ ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p>○ 順位が高い</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が中程度</p> <p>○ 順位が低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が高い</p> <p>○ 順位が中程度</p> <p>○ 順位が低い</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p>○ 他と同程度の事業である</p> <p>○ 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p>○ 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p>○ 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p>○ 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p>○ 効率化や改善の余地が大きい</p>

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

社会情勢の変化に伴い、治療しながら社会生活を送る方や、在宅療養をされる方は増加していくと推測され、ニーズは高まっていくことが想定される。また、本事業は他市町村と比較し先進的な事業であるため、今後も継続していく必要があると考える。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	成人保健係
■評価事業名称	自殺対策事業			
■事業開始年度	平成22年度			
■評価事業コード	040200 - 260	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	地域自殺対策強化事業実施要綱、自殺対策基本法			
■関連計画の名称	岩手県自殺対策アクションプラン、北上市いのち支える行動計画、北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	こころの健康と自殺防止に関する講演会や普及啓発、出前講座、相談に対応できる人材養成及び相談支援体制の整備、行政と関係機関の連携強化により、自殺対策の推進を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	自殺対策事業	一般市民、民生委員等	自殺者死亡率18.4以下、人材養成研修会1回(民生委員、市職員等を対象)、講演会3回(若年層対策と教員向けとして)、こころの体温計周知カード配布北上市いのち支える自殺対策推進会議、ネットワーク会議等の開催	自殺者数18人。人材養成研修会と講演会はコロナで実施できなかった。こころの体温計周知カード配布5,940枚、北上市いのち支える自殺対策推進会議1回、幹事会1回、作業グループ会議1回ネットワーク会議、1回開催

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	348	3,194	558	285	
人件費	6,652	8,065	5,137	12,692	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	7,000	11,259	5,695	12,977	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	自殺者数の減少	19人	14人	17人	18人	出典:警察庁「自殺統計」
01	保健指導率				100%	保健指導済者数/保健指導対象者数=指導率
02	普及啓発講演会の延べ参加者数	90人	476人	428人	0人	延参加者数

03	普及啓発1回当たりコスト	18.67千円	23.65千円	13.31千円	0	フルコスト/講演会参加者数
04	人材育成1回当たりコスト	27.09千円	111.47千円	138.9千円	0	フルコスト/参加者数
05	人材養成研修の延べ参加者数	24人	101人	41人	0人	延研修会参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

新型コロナウイルス感染症の影響により、人材養成研修会と講演会を開催できなかった。会議は感染防止対策をして開催し、啓発は例年通り実施した。

問題点・課題等

感染予防を念頭に研修会と講演会の実施方法を再検討するとともに、市民が相談できる環境を確保する必要がある。今後もコロナ禍での全国の自殺の状況を注視していく。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

全国の自殺者は減少傾向にあるが、県の自殺者はワースト1であり、自殺対策の強化が求められている。今後も市内と関係機関が連携して、市民が相談しやすい意識の醸成や、問題解決につながる環境づくりを図っていく。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課		■担当係	包括支援係
■評価事業名称	健康福祉ポイント事業			
■事業開始年度	令和2年度			
■評価事業コード	043100 - 224	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	■事業概要:スマートフォンやウェアラブル端末、万歩計を活用した健康ポイントシステムを利用し、「歩く」、「健康づくり教室に参加する」、「検診を受信する」行動やそれに伴う身体の変化ならびに高齢者を支えるボランティア活動に応じてインセンティブを付与し、参加者の運動習慣やボランティアの定着を図りヘルスリテラシーの向上につなげる。■事業内容:先進地の視察			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	健康福祉ポイント事業	20歳以上の市民	行政視察3か所システム業者選定事業 周知関係団体協議(スポーツ・商工関係団体等)	ポイント制度実施要項策定

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				19	
人件費				3,947	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				3,966	

4. 評価指標等の状況

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
■目標達成状況 <input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている		
1. 直接的な受益者の範囲	2. 国・県・民間との競合関係の有無	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合
<input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	<input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	<input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
3. 事業廃止の影響・貢献度	4. 市民生活・企業活動への貢献度	8. 施策の優先度(市民意識調査)
<input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	<input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	<input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い
6. 事業へのニーズの変化	7. 施策の改善需要度(市民意識調査)	11. 経済性・効率性の向上
<input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	<input type="radio"/> 順位が高い <input checked="" type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	<input type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input checked="" type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい
9. 他市町村に比較しての優位性	10. 実施主体の代替性	
<input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	<input type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	
■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)		■今後の方向性
		<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小 <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了